

### 第9回 三遊亭鳳楽独演会

期日 10月6日(日曜日)  
 時間 午後5時開演  
 場所 広厳寺本堂  
 定員 350名  
 チケット 1,000円  
 \*7月チケット売り出し



□新年役員会  
 ▼一月二十日新年役員が開催されました。任職挨拶、総代長・佐久間清氏挨拶、退任・新任役員紹介、平成二十四年度行事報告、平成二十五年度行事予定、平成二十四年度護持費決算報告(見込み)、その他・授戒会について、終わって懇親会。

退任 鷹巢 近 鍊雄氏  
 新任 東川内 柳澤進悦氏  
 表町 兼田孝夫氏

\*新任者には委嘱状授与

#### □瑞應寺だより(恭真)

▼愛媛県新居浜の瑞應寺専門僧堂に修行中の三男のこと。  
 「平生、坐禅に自信のない所、臘八、断臂、涅槃などの摂心、僧堂は厳しい寒さ。最適な環境の中で、自分を見直し、いい坐禅をしたい。」  
 新潟県広厳寺徒  
 書記 神田恭真

銀杏(瑞応寺報)一月号に掲載された年頭所感です。二度目の書記を務めています。

▼三月から修行四年目に入ります。「動静大衆に一如し、死生叢林を離れず、群を抜けて益なく、衆に違するは未だ儀ならず。これは是れ仏祖の皮肉骨髓なり。」永平元禅师清規・弁道法にある道元禅师のお言葉です。現在全国より十九名の若い雲水が堂頭・檜崎通元老師の元、弁道法に従い、切磋琢磨、大衆一如、修行中です。

#### □千眼寺だより(秀孝)

▼住職を補佐して半年が過ぎました。現在副住職として壇務をまかされています。十八教区では一番若手、御詠歌も習い始めました。

#### □梅花だより

##### ▼全国梅花流奉詠大会

期日 平成二十五年  
 五月二十九日～三十一日  
 会場 宮城県総合運動公園  
 グランディ・21  
 登壇奉詠 三十日  
 奉詠曲目 追善供養御詠歌  
 (妙鐘)

第四宗務所より百二十名参加  
 \*東日本大震災三回忌法要が勤修されます。

##### ▼練習会日程表

三月 四日(月)	午後一時
三月二一日(木)	午後一時
四月 九日(火)	午後一時
四月十八日(木)	午後一時

##### ▼教区梅花講習会

期日 六月七日  
 会場 長谷寺  
 講師 梅花流特派師範

\*梅花流詠讃歌(御詠歌)を始めませんか。お釈迦さま、道元さま、瑩山さま、諸仏・諸菩薩さまを讃え、ご先祖さまを敬うところを学ぶことができます。

#### 仏事の知識

##### お香典の意味

お葬式に参列するときには、「お香典(奠)」を持参します。本来は、「故人となられた方に供養のためにお香をお供えしてください」と言う意味があります。亡き人に敬意を表するとともに相互扶助のためでもあります。法句経というお経の中に、「花の香りは風に逆らえば匂わず、されど善き人の香りは風に逆らいつつも匂う」とあります。善き人の香りとは何でしょう。「善き人」とは毎日毎日を仏の教えに照らされた日送りをしている人のことであり、その人の表情や言葉、行いが「その人の香り」となって表れてきます。お香典とともに、自分の善い香りもお供えできるようにしたいものです。お香典を差し上げる、お焼香をする、お線香を立てる、そして、自身の善き香りを供養する。亡き人に対して心を込めて芳しい香りをお供えいたしましょう。